

令和3年10月教育委員会定例会 会議録

令和3年(2021)10月21日(木)午後2時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲弥生の森博物館体験学習室に招集した。

1 会議に出席した委員

教育長	杉谷 学
教育委員(教育長職務代理)	錦田剛志
教育委員	金築千晴
教育委員	内藤祐馬
教育委員	伊藤恵美

2 説明のため会議に出席した者

副教育長	三島武司
教育部次長	松浦和之
教育部(子ども未来部)次長	金築健志
教育政策課長	常松博雄
学校教育課長	福間耕治
児童生徒支援課長	兒玉浩二
教育施設課長	園山裕二
学校給食課長	石橋健治
出雲科学館長	鬼村修治
学校教育課主査	山本芳正
児童生徒支援課課長補佐	吾郷尚志

3 会議の書記

教育政策課課長補佐	池尻精二
-----------	------

4 傍聴者

0名

開会

(杉谷教育長) 只今から、令和3年10月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しております日程のとおり行います。

1 教育長行政報告

(杉谷教育長) それでは、「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

1 前回以降の動向

R3.10. 1	新規採用職員辞令交付式・ 第5回教育政策審議会
R3.10. 4	教育委員学校訪問(～7日)
R3.10. 8	新規採用職員正式任用式 ・ 学校医との懇談会
R3.10.12	出雲市議会臨時会 ・ まちづくりミーティング(稗原)
R3.10.13	第6回教育政策審議会
R3.10.16	東地区同和教育研究指定事業発表会(朝陽小)
R3.10.18	いじめに特化した教育長学校訪問(～11月11日)
R3.10.21	いじめ問題対策委員会 ・ 定例教育委員の会議

2 今後の予定

R3.10.22	幼稚園長会、PTA連合会要望 ・ まちづくりミーティング(佐田)
R3.10.24	隣保館まつり
R3.10.26	校長会予算要望説明会 ・ 人事評価審査会
R3.10.28	第7回教育政策審議会 ・ まちづくりミーティング(今市)
R3.10.29	出雲市議会全員協議会 ・ 管内教育長会、研修会(奥出雲町)
R3.11. 2	出雲市教育研究大会(中部Bブロック大会)
R3.11. 4	校長の会議 ・ まちづくりミーティング(川跡)
R3.11. 8	第8回教育政策審議会
R3.11. 9	市長面会対応(ことばを育てる親の会)
R3.11.10	全国市町村教育委員会オンライン協議会
R3.11.12	定例教育委員の会議

(杉谷教育長) 以上の報告について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

(杉谷教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回9月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に意見等ありませんので、9月定例会の会議録については、承認します。

3 議事

(杉谷教育長) 「議第43号 出雲市立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則」を、金築教育部(子ども未来部)次長 に説明願います。

(金築教育部(子ども未来部)次長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) さきほど説明がありました、議第43号について、何か質疑がありましたら、お願いいたします。錦田委員。

(錦田教育委員) 令和4年度には全園を長時間預かり可能とされるということで、事柄的には良いことで、時代に即したものだと思います。働き方改革がある中で、職員の方々の体制、受入側の現状と課題を教えてください。

(杉谷教育長) 金築教育部(子ども未来部)次長。

(金築教育部(子ども未来部)次長) 預かり保育事業を実施するに当たっては、会計年度任用職員を雇用して実施しています。長時間預かりの園については、朝預かりの方、午後預かりの方、長期休業中はフルタイムの方を配置しています。短時間預かりの園については、午後預かりの方だけ配置しています。8園中4園が長時間預かりになると、新たに任用することとなります。この方については、有資格者の方も必要ですが、資格のない方でも任用することができることとしています。公募をかければ、ある程度の応募はあると考えていますが、人員確保については、課題の一つです。

(杉谷教育長) いかがでしょうか。

(錦田教育委員) 予算の説明の際に話をきいて、有資格者だけでないということだったので、うまく回っていけばいいと考えていました。一方で、人材不足という声も聴きますので、しっかり広報して受入側の体制の整備に力を尽くしていただきたいです。

(杉谷教育長) 他にございませんでしょうか。特に質疑等がないようですので、議第43号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第43号については承認します。

(杉谷教育長) 続いて、「議第44号 出雲市小・中学生各種大会参加費補助金交付要綱の一部を改正する要綱」を、教育政策課 常松課長 に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 先ほど説明しました、議第44号について、何か質疑等ありましたら、お願いいたします。内藤委員

(内藤教育委員) 今、PCR検査は、どのくらいするのでしょうか。

(常松教育政策課長) 値段に差があります。安いところだと1万円くらいです。抗原定量検査ですと、もう少し安くなります。高いものですと4万円くらいするものがあります。ジュニアオリンピックという大会があります。そこが参考価格で1万6千8百円と言う金額を出していました。その大会の斡旋だと1万円くらいになっていました。それにいたしましても、金額は高額ですので、一部補助することといたしました。

(杉谷教育長) よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。特に質疑等がないようですので、議第44号について承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第44号については承認します。

(杉谷教育長) 次に、議第45号から議第50号までは、すべて出雲市教育委員会感謝状に関する議題ですので、一括議題といたします。それぞれ、教育政策課 常松課長と教育施設課 坂根課長補佐 に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料に基づき説明

(坂根教育施設課課長補佐) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) それぞれの議案について、一括で説明いたしました。読書ボランティア関係と、学校設備関係です。これら、議第45号から議第50号までについて、質疑等がありましたらお願いいたします。

(各教育委員) なし。

(杉谷教育長) 特に質疑ないようですが、議第45号から議第50号までの6議案について、事務局案のとおり承認してよろしいでしょうか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第45号から議第50号までの6議案について

承認します。

4 報告

(杉谷教育長) 議事の方は以上です。続いて4 報告にはいります。「学校訪問について」、教育政策課 常松課長から説明願います。

(常松教育政策課長) 資料をもとに説明

(杉谷教育長) 見られた感想ですとか、疑問とか含めて、一言ずつお願いいたします。内藤委員からお願いします。

(内藤教育委員) 施設の方で問題があったのが、体育館の壁の部分とか、雨漏り、教室の床の問題、学校の入口のところに水が溜まる、排水の問題などがありました。適切に、修繕などを早めにやってあげると、けがもなく進むかと思いました。重点的に聞いていたのが、いじめと不登校のことでした。不登校のことだと、須佐小学校がいませんでした。いじめに関してですと大社中学校が非常に取組がすすんでいると感じました。校長先生に確認したところ、何でそうなっているかわからないとの回答でした。いいことなので、もう少し分析していただいて、他の学校に伝えていただけたらいいなと思いました。大社中学校の取組も組織的にやられていていいなと感じました。情報を分析していく、その情報を他に伝えていくことが重要だと思います。今後は、しっかりとやっていただきたいと感じました。ICTに関しては、湖陵小学校でしたか、動きのある授業をやられてすごいなと感じました。他の学校では、ただモニターに拡大して授業をやられているところもあったので、差があると感じました。これについても、組織の組み方が重要になると思います。抜きん出ている先生がいるところは、組織の組み方がうまいのかもしれない。今のレベルが始めたばかりの学校だからなのか、今レベルが高い人は、初めから高いレベルであったのか、全校を平均的なレベルに持って行っていただくためにも、組織の組み方などもう少し分析をしていただきたい。

(教育長) さきほど、修繕のことと、いじめの対応について、学校の取組の良さと言うものについての取組の周知、ICTに関してのものでした。他のみなさんの意見を聞いた後で、各課の方からコメントさせたいと思います。次、錦田委員お願いいたします。

(錦田教育委員) 各学校とも、比較的児童生徒の授業態度が落ち着いているなどの印象を持ちました。一部で授業を受ける姿勢、足を椅子の上に載せてみたり、はみ出してみたり、授業を受ける態度や姿勢が課題だと感じました。肉体的にも、向き合う態度と言いますか。そういう児童生徒が若干いたなという印象で、気になりました。図書館について、毎回見るようにしていますが、大きい学校も、小さい学校も、司書やボランティアの方が一生けん命努力されています。整理整頓されていて、子どもたちが学んでみようと思

欲がわくような図書の配架がなされていました。大変いいことだなと思いました。一方で新聞の取扱いが学校によって差があると感じました。子どもたちが見やすい状況で配架されているところ、あるいは、図書室に限らず、新聞コーナーが踊り場のようなところにある学校もありました。逆に、図書室の奥に畳んで新聞が置いてあるという学校もありました。新聞を用いた社会的な視野の広がり配慮いただきたいと感じました。郷土学習の書籍が前から気になっていて、この場でも話したことがあります。ふるさと学習のコーナーを設けている学校がほとんどなのですが、本の内容が古いものが置いてある学校があります。古代歴史博物館も出雲弥生の森博物館もできて、平成20年代からは文化財関係の調査研究が、出雲や島根県は進んできています。調査研究が進んでいるにも関わらず、残念なふるさと学習のコーナーがありました。以前、島根県の教育委員会が作成した神話読本ですが、十分目立つ配架ではなかったかなと感じました。神話に関する漫画とか、わかりやすい入門書があると、日本に誇る文化遺産ですので、神話を中心としたふるさと学習の書籍の充実がもとめられるのかなと感じました。タブレットの活用に関しては、発展途上にあるなと思いました。たちまち、すぐ改善できるわけではないですが、内藤委員が言われた組織づくりも含めて、誰か引っ張って行ってくれる人を中心に各学校のレベルが平均的に向上するといいなと感じました。

(杉谷教育長) 続いて、金築委員をお願いします。

(金築教育委員) 今回、興味があったのが、フレンドシップ事業で各学校の代表の方が出られ、話し合いがされていたので、その後各学校でどのような取組がされたのか気になりました。時間がなくて、聞けませんでした。その後、中学校でどのように取り組まれたのか教えていただきたいです。大きい学校で収納があるはずなのに、乱雑に物がおかれていた学校は、生徒も落ち着きが若干なかったかなと感じました。狭いながらもきれいに整頓された学校は、生徒が落ち着いた感じがしました。学校それぞれ違いがあることが改めてわかりました。多伎小学校は、海が見える素晴らしい環境で、勉強できることが幸せだなと思いました。他の学校の児童生徒もいろんな学校を見て回ったらいいなと感じました。錦田委員もおっしゃいましたが、新聞について気にしていて、家でとっていない家庭もあることから、学校で読むのかなと。学校も差があり、水曜日に子供向けの新聞を山陰中央新報が出しますが、それを掲示されている学校もあり、なるべく見る機会が増えるようにいざなっていくのがいいと感じました。学校によっては、どこにも新聞がないところもありました。できれば、活字や新聞で日々のことがわかればいいと思います。

(杉谷教育長) 伊藤委員をお願いします。

(伊藤教育委員) 教育委員という立場でというより、保護者として見た面もあります。不登校の問題が気になりました。今も昔も変わらないと思いますが、理由が昔と変わってきていると感じました。昔は、いじめであったりが原因だったと思うのですが、前回の学校訪問でも、バスに間に合わなかったので学校に行かないだとか、今回訪問した学校

でも、自分の好きな教科だけ出席する、それを保護者が容認している事例もあるとお聞きしました。私は、すこし疑問も感じました。学校という場所が学力だけでなく、人間関係だったり、会話する力だったりを身に着ける場でもあると思います。社会に出たときに、大事になってくる部分だだと思います。子どもだけでなく、保護者も学校という存在を講演会だったりイベントなどで、保護者としても勉強していかなくてはと感じました。

（杉谷教育長）ありがとうございました。さまざまな視点から意見をいただきました。それぞれの課からコメントを順にお願いします。

（福間学校教育課長）はい。ICTと図書館の2点について、お答えいたします。ご意見にありましたとおり、現在かなりの学校で使い始めています。我々も研修等を行い、活用をすすめていきたいと考えています。意見にあったとおり、差があることは認識しています。もちろん、学校の中での体制づくりについては呼びかけているところではありますが、意見にあったような好事例とか、活用の仕方については、情報を共有していくことが必要だと考えています。今後の研修会を通じて、共有できるようにしたいと思います。図書館については、新聞についてご注視いただいたようです。図書購入費の中に新聞の購入費も含まれています。その辺りを含め、学校に説明すると同時に、学力に非常に影響するというデータも出ていますので、学校司書の研修会を通じて、ぜひ置いていただき、それも目につくような配置について呼びかけていきたいと思います。また、郷土関係の本ということですが、さきほど錦田委員から古い本があるという意見があったのですが、図書館の廃棄の基準で、郷土の本は廃棄しないとしています。そのこともあって、古いものが残っています。神話の本でありますとか、郷土を学ぶのに有効だと考えますので、学校と情報共有をしながら、進めて行きます。

（坂根教育施設課課長補佐）内藤委員からご指摘があった学校施設の老朽化が進んでいる学校については、引き続き、児童生徒の安全を第一に優先として、修繕を進めて行きたいと思います。

（杉谷教育長）内藤委員。

（内藤教育委員）思い出したのですが、湖陵小学校において、前の給食センターの建物を活用したいと言われていました。教員の話し合いをする場所がなくて、校長室で話をしているというお話がありました。その場所の活用についても考えてあげていただきたいです。

（兒玉児童生徒支援課長）まず、フレンドシップ宣言ですが、昨年度はコロナの関係もあって、全学校を集めることができませんでした。今年度は、8月に各中学校から3人ずつ生徒会、学校の中心メンバーが集まっていたいて、いじめの問題を自分たちの問題だということで、考えていただきました。学校の先生や大人たちは、いじめ対策を講じています。一方、子どもたちの力は非常に大事だということで、各中学校から普段の取組の

状況、あるいはこれから取り組んでいきたい状況、このフレンドシップ宣言をもとに学校で取り組んでいきたいことについて、全学校から集まっていたいて、フレンドシップ宣言を作って、各学校に配布しているところです。今年度の特徴としては、一人一台のタブレットが配布されていますので、起動させたときにこのフレンドシップ宣言が画面に出るような設定にします。ずっとではなくて、人権週間に合わせて2週間フレンドシップ宣言が画面に出て、子どもたちが合言葉ではないですが、共通して取り組んでいく意識づけということで、活用したいと考えています。その後の学校の取組については、特に報告の義務を設けていませんが、当初の予定でいきますと、人権週間のところで、各中学校でこれを使ってあるいは、これを基に取り組んでいくとしています。現時点で、報告は入っていません。本来は、議場でボタンを押しながら宣言を採択する予定でしたが、各学校すべての生徒がボタンを押すことが出来ませんでしたので、挙手にて宣言を採択ということにさせていただきました。子どもたちには、なかなか普段できない良い体験となったと思います。非常にいい意見を発言していたと感じていたところです。不登校あるいはいじめの分析についてですが、さきほど教育長の行政報告の中で、学校訪問を続けていると報告があったと思いますが、児童生徒支援課もいじめに特化した指導主事がいます。各学校2か月に1回ずつ学校を訪問しています。年間5回くらい訪問して、各学校の取組をチェックといいますか確認しています。アンケート調査が生徒あるいは保護者にきちっと行われているか、その結果や、あるいは保健室の利用であるとか、部活動の出席の状況であるとかいろいろな角度から子どもを見て、特に早期に発見して、早期に対応していくことが重要であると。委員がおっしゃられたように、何が有効であるか、有効であったのか、何をしたら未然に防ぐことができたのか、そういった好事例をその指導主事が情報を得た段階で、広めるような状況にしているところです。今後も、この取組を続けていかなければいけないと考えています。いじめや不登校については、保護者と連携し、目標を一緒にしながら少しずつとなるかもしれませんが、やっていくことが重要だと考えています。

（杉谷教育長）伊藤委員がおっしゃった学校の存在意義とは何ぞやということですが、子どもの状況によって、家から出れなかった子どもが、ちょっとずつ学校に来出すのが給食の時間であったり、参加できる授業であったりする途上の状況なのか、言い方は失礼ですが、学校は行かなくてよい、好きな時に行けばいいというぐらいの意識であるのか、それによって大きく違うことなので、子ども一人一人を見ながら、保護者の方と、存在意義というか、一人では学べないことがたくさんあって、これから成長して社会に出るにあたって必要な力をつけていけば子どもたちにとっては、まず学校だと思います。話をしながら、学校の登校に繋げていけるようにしたいと考えています。学校を完全に否定している保護者はないと思っています。実際、子どもとどう対応したらよいのか、どう向き合ったらよいのか、困り感をお持ちの保護者はいらっしゃると思っています。スクールカウンセラーであったり、スクールソーシャルワーカーであったり、学校とが協力して保護者と向き合っていくという形にしています。ICT機器が手に届くところにきてしまったので、極論すると学校に行かなくても勉強できるという意識になれるのが一番恐れています。あくまでツールであって、それで人間形成ができるわけではありません。学校で指導す

る場合も常にそういうことを頭に入れながら、指導しないと危うくなるのかなと感じています。全部が、パソコンとかタブレットに置き換えられることもないし、置き換えることもできないと思います。そういう風に思われないようにしないといけないと考えています。学校を見ていただく機会が教育研究会とかありますが、その都度感想とかをお聞かせいただきたいと思います。

錦田委員。

(錦田教育委員) 学校図書館のことについて、福間課長から発言がありましたが、誤解がないように言いますと、ふるさと学習のために貴重ですし、歴史書になりますので、古いものを捨ててくださいということではありません。研究成果の新しいものが入っていないことが問題だと考えています。加茂岩倉の銅鐸や、荒神谷の銅剣が出る前の話が書いてある本があるのです。いわゆる内容が古い、調査研究の実績があがっているのに、新し研究の成果が反映された新しいもので補っていくという本の整え方をされたらいいと思います。古いものを捨ててくださいと言う考えではありません。

(杉谷教育長) 次に、まいります。報告2「令和3年度1学期出雲市立小・中学校における問題行動等について」、児童生徒支援課兒玉課長から説明願います。

(兒玉児童生徒支援課長) 資料を基に説明。

(杉谷教育長) 只今の、報告2の説明について、何か質疑等はありませんか。金築委員

(金築教育委員) 盗み、万引きとあるのですが、小学生がプラス7ですごく増えているのですが、どういったものを万引きしているのですか。不登校で、特に中学生が増えているのですが、この中で外国籍の児童生徒は何名くらいいらっしゃるのですか。こういう支援センターがあることをご存じかどうか知りたいです。

(杉谷教育長) 兒玉課長。

(兒玉児童生徒支援課長) 小学生の万引きするものについては、文房具とお菓子です。女の子で化粧品があります。アクセサリなども以前はありましたが、1学期にはありませんでした。外国籍の子どもの不登校ですが、1学期の段階で、いわゆる日本語指導が必要な児童生徒につきましては、中学校で1人報告があります。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) 外国籍の保護者の方は、センターのような場所があることを知っていますか。

(杉谷教育長) 兒玉課長。

(兒玉児童生徒支援課長) 外国語のパンフレット等は作成していません。各学校のコーディネーターの先生であるとか、その先生方から通訳を通しての説明となると思います。外国籍だから入れないということでもありません。ただ、入ってからいろいろな配慮が必要であると思います。そういったことは、学校を通じての話となると思います。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) ゲームとか考えていましたが、文房具で意外でした。それは欲しくてでしょうか。

(杉谷教育長) 兒玉課長。

(兒玉児童生徒支援課長) 動機はわかりません。各店舗は、積極的に通報するという姿勢で臨んでいます。コンビニエンスストアや大型店舗であっても、発見したら警察に通報する。警察の方から学校の方にお知らせするよという形で教育委員会に情報が入ってきます。委員が言われた動機についてははっきりとはわかりませんが、このような状況が背景にあります。

(杉谷教育長) 金築委員。

(金築教育委員) 本当に欲しくてするのか、スリルが欲しくてするのか。たぶん経済的に困窮している子たちがしているとは思いませんが。この部分については、今後が気になるころではあります。保護者の方がどういう対応をしているかわからないのですが。

(杉谷教育長) 他にございますでしょうか。内藤委員。

(内藤教育委員) いじめ問題のところで、さきほど被害者数、加害者数ともに、小学生のところが非常に増えています。これが何故かということがわかりますか。

(杉谷教育長) 兒玉課長。

(兒玉児童生徒支援課長) 課内の分析では2つあります。1つは小学生が増えているということで、先ほど言いましたように、指導主事が2か月に1度必ずチェックしているということで、特にいじめの認知の方、見逃しをしないという方向で指導してきています。そのことが、学校の方でスタンダードになってきたということが一つあると思います。軽微なもの、あるいはちょっとしたことでも、先生方が気を配りながら、これはいじめだとしていることが一つあります。もう一点、昨年度は休みの期間が長くありました。コロナということで、3密を避けるというあまり密着しなかったことからいじめに繋がらなかった。数が拳がってこなかったということがあります。元年度と比べますと小学生の被害生徒は若干

増加していますが、他はすべて減少しています。昨年度と比較すると、昨年度が低かったために、大きくプラスとなっています。不登校の方も、同様な状況です。

(杉谷教育長) 内藤委員いかがでしょうか。

(内藤教育委員) その理由はどうか。では、前年度が何故低かったのか。私もコロナだとは思いますが、今後分析はしていただきたいです。人数が増えたところがまだ見えていなければ、分析が足りないということでないのかなと思います。不登校に対しても、コロナは関係あると思っています。数値を見る限り統制が取れていないと思うのです。例えば、不登校の1番目の人数と2番目の人数が整合性が取れていないと思うのです。非常に人数が多いなと思いました。もう少し詳しく分析されてもいいと思いました。整合性がとれていない数字があるような気がします。先生達が子どもたちを見る中で、これはいじめである、これはいじめでないという基準を持って、されているとは思いますが。ちょっと、ぶれているのではないのかな。これは、ささいなことはいじめではないよということをおっしゃられたのではないかと思います。その軽微なものがどんどん積みあがって、いじめがどんどん増えているような内容だったと思います。これがいじめなのかと疑問に思いました。基準というものをしっかり作りあげていただいて、これはあからさまにいじめではないというような線引きを学校でしっかりとしていただきたいです。

(杉谷教育長) 兒玉課長いかがでしょう。

(兒玉児童生徒支援課長) 最後のいじめの基準については、学校から報告があったものを指導主事が学校に聞き取りをして、判断させていただいています。いじめの基準については、法律でできています。それが基準であるということで、学校とやり取りをしています。1番と2番の整合性とありましたが。

(内藤教育委員) かつこの2番のところと、かつこの1番のところはどう判断したらよいでしょうか。

(杉谷教育長) 兒玉課長。

(兒玉児童生徒支援課長) かつこの1番は30日以上欠席した児童生徒です。かつこの2番は不登校になることが心配される数と言うことになります。従って、30日未満の子どもたちであったり、昨年不登校であって、今年は欠席がないけれども、心配だなと学校が判断した数をあげています。欠席はないんだけど、心配であるとか、遅刻が多い、あるいは早退が多い、保健室利用が多い児童生徒が挙がっている数字となります。

(杉谷教育長) 内藤委員。

(内藤教育委員) わかりました。学校側が心配されてここに挙げているという意味合い

ですね。いじめが増えているという解釈でよろしいのでしょうか。

(杉谷教育長) 兒玉課長。

(兒玉児童生徒支援課長) 当然、研修の具合とか、浸透具合は昨年と今年では違うかもしれません。基準に従った判断でこういった数字となりました。いじめ自体がそう大きく増えているわけではないですが、教師の基準がしっかりしてきたと考えています。それによって増えてきていると思います。いじめの基準は「被害者側の心身の苦痛があったかどうか」の一点です。ものであったり、お金であったり、心であったり、被害者側の視点に立って苦痛があったかどうか、それがいじめであるかどうかの判断基準です。暴力行為については必ず苦痛があるだろうことからいじめにカウントします。お互いが何かしあったとしても、お互い苦痛がある場合はカウントしていきます。

(杉谷教育長) 内藤委員。

(内藤教育委員) わかりました。被害者側の視点があったからここまで人数が増えてきたという意味合いでよろしいですね。

(兒玉児童生徒支援課長) はい。

(杉谷教育長) 内藤委員。

(内藤教育委員) わかりました。基準を教えていただいて、納得できました。

(杉谷教育長) 松浦次長。

(松浦教育部次長) いじめに特化した学校訪問を行っていて気付いた点は、昨年に比べて学校のいじめや不登校に対する意識というものが、高まっていると感じます。さきほど、兒玉課長が言いましたように、ほんの些細なことでも、本人が嫌だなと思うとか、そういうふうにした場合は、すぐに管理職まで報告をあげて、校内で対策を取ります。子どもが2日間休んだという場合に、その背景にいじめがあるのではないかというような観点で保護者と連絡を取り合いながら、対応する。そういったことが、学校に随分浸透してきていると感じています。子どもたちを見る目が、より深く、広くなってきていると思います。それに伴って、数が増えていると捉えることができると思います。もちろん、いじめが増えることはよくないことですが、先生たちの感覚が研ぎ澄まされていったと言うことでもあると思います。苦しんでいる子を助けていくと言うことは、いいことだと思いますので、今後ともこのような形でやっていくよう学校に指導していきたいと思っています。

(杉谷教育長) 他にありますか。

(各教育委員) なし

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、次に、その他に入ります。教育委員会の後援について、教育政策課常松課長 に説明願います。

(常松教育政策課長) 資料を基に説明

(杉谷教育長) 後援についてはよろしいでしょうか。

(各教育委員) なし

(杉谷教育長) 次期教育委員会の日程ですが、11月12日(金)午後2時から、開催させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

開会

(常松教育政策課長) 皆さま、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】 (午後3時14分)